

議会かながわ

令和8年 第2回定例会
(5月18日から7月13日まで)

No.191 令和8年(2026年)
8月31日(月)発行



県議会ホームページ <https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/>

神奈川県議会

検索

編集・発行・お問合せ 議会局政策調査課
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電話 (045) 210-1111 (代表) (045) 210-7564 (直通)
FAX (045) 210-8907
インターネット 神奈川県議会へのお問い合わせ 検索



緑のハートのマーク  は、県議会のマークです。緑は神奈川県を自然を表し、開かれたハートは、県議会の活動で県民の皆さまの心をつなげたいという、願いが込められています。

令和8年度6月補正予算案等を可決

令和8年第2回神奈川県議会定例会は5月18日から7月13日まで開かれました。

6月15日及び7月13日には、国の補正予算を踏まえた物価高騰対策など、早急に対応する必要がある事業について、総額53億7,900余万円の6月補正予算を可決しました。

このほか、神奈川県立の高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例などを可決しました。

6月補正予算の主な内容	予算額
LPガス料金の高騰に対する支援	23億982万円
介護及び障害福祉分野の賃上げ等に対する支援	22億2,813万円
高等学校等教育改革に向けた体制構築	4,248万円
周産期医療提供体制の確保に向けた支援	1,000万円

可決した主な 条例案の概要

● 神奈川県立の高等学校等の設置に関する条例(改正)

県立高校改革実施計画(Ⅲ期)に基づく再編・統合により、旭高校と横浜旭陵高校を新たに横浜旭高校として、横浜桜陽高校と永谷高校を新たに戸塚南高校として、さらに、藤沢清流高校と深沢高校を新たに藤沢東高校として設置するため、条例案を審議し、改正を行いました。

● 神奈川県迷惑行為防止条例(改正)

ストーカー行為等の規制等に関する法律の一部改正を踏まえ、正当な理由がないのに、相手方の承諾なく、その所持する紛失防止タグに係る位置情報を取得する行為を規制対象とするため、条例案を審議し、改正を行いました。

議長、副議長決まる

5月25日には、正副議長の選挙が行われ、議長には、杉本透議員(自民党)、副議長には、杉山信雄議員(自民党)が選出されました。

議長



すぎもと とおる
杉本 透
自民党
足柄上

919万県民の負託を心に刻み、臆することなく、その重責を果たしていく所存でございます。

このたび、神奈川県議会第119代議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その責任の大きさに、身の引き締まる思いでございます。

919万県民の負託を心に刻み、臆することなく、その重責を果たしていく所存でございます。

さて、本県を取り巻く状況を見ますと、県民生活に影響を与えている物価高騰への対応や、地域経済の発展、持続可能な社会の実現など、課題は山積しております。

県議会といたしましても、これらの諸課題に対応するため、しっかりと審議し、必要な提言を行い、県民の皆様が安心して、より豊かに生活できるよう全力を尽くしてまいります。

また、来年3月から、2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」が、神奈川県で開催されます。自然と人が共生した、持続可能で幸福感が深まる社会の創造を目指すこの博覧会を契機として、県議会では、「ともに生きる社会かながわ」の実現や、持続可能な社会づくりを更に進めてまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

副議長



すぎやま のぶお
杉山 信雄
自民党
川崎市川崎区

県民の皆様に寄り添いながら、必要な施策を展開していけるよう努めて参ります。

このたび、神奈川県議会第120代副議長に就任いたしました。

身に余る光栄であるとともに、身の引き締まる思いで一杯です。

さて、県内では、未だ収束の兆しが見えない食料品や日用品などの物価高騰のほか、年々激甚化していく災害への備えなど、県民の皆様が不安を抱える問題が山積しております。

また、今年は、津久井やまゆり園事件から10年を数える年であり、改めて「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の実現に向けて、県を挙げて取組を進めていく必要があると考えています。

こうした、喫緊の諸課題の解決に向け、県議会としても、引き続き県民の皆様寄り添いながら、必要な施策を展開していけるよう努めて参ります。

杉本議長のもと、私自身も県民の皆様の期待に応えることができるよう精一杯努めてまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

正副議長就任のあいさつ動画はこちらから 



主な活動〈第2回定例会〉

本会議など

(5月18日～6月26日)

- 議長、副議長の選出
- 各委員の選任
- 知事提案説明
- 代表質問(2面)
- 一般質問(3面)
- 議案の審査
- 議案の採決(8面)

常任委員会

(6月30日・7月1・8日)

- 議案等の審査(6面)

特別委員会

(7月3日)

- 調査

本会議

(7月13日)

- 議案等の採決(8面)



代表質問

6月18日 木・19日 金・22日 月

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、9月上旬に県議会ホームページに掲載される県議会会議録をご覧ください。また、二次元コードから、各質問・答弁の録画映像がご覧いただけます。

会派名・選挙区は、質問時点のものです。質問順は、左上から下に続きます。



くすのき りえこ
楠 梨恵子

自民党
横浜市栄区



GREEN×EXPO 2027来場促進

問 来場促進のためには、機運醸成とともに、アクセシビリティ※¹への配慮が重要だが、知事の見解と意気込みを伺う。

答 多くの方に万博に参加していただくため、各地のイベントや地方知事会議に出向き、万博の魅力や県の取組などを紹介しながら、一層の機運醸成と来場促進を図っている。また、車いすでも作業できる花壇の設置や展示物の音声案内、映像への字幕表示などアクセシビリティに配慮した展示を行う。

東海道新幹線新駅の誘致

問 寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅誘致について、今後どう進めていくのか、知事の見解を伺う。

答 JR東海が新駅設置の可否を判断す

るためには、新駅の概略設計が必要だが、経済効果等の調査中であるため、実施に至っていない。そこで県は、概略設計の費用を先行して負担することとした。今後、JR東海の協力の意向を確認でき次第、概略設計に着手したい。

ともに生きる社会かながわの実現

問 津久井やまゆり園事件の発生から10年となる中、事件の風化を防ぎ、ともに生きる社会かながわの実現に向け、どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 7月の追悼行事において、県民と共に当事者目線の障害福祉を考える集いを開催し、次世代へのメッセージを発信する。また、大学生とやまゆり園利用者が一緒に農作業をする様子などを発信するほか、新たに作成した絵本を学校等で活用し、子どもたちが「ともいき」を考える機会をつくる。

このほか

物価高騰等の影響を受ける県内中小企業の支援、ヘリコプターの本格導入、特殊詐欺被害防止、警察犬の採用と育成などについて質問しました。



たにぐち かずふみ
谷口 かずふみ

公明党
大和市



フュージョンエネルギー※⁴

問 脱炭素社会の実現に向けて、実用化が期待されるフュージョンエネルギーについて、知事の見解を伺う。

答 発電時にCO₂を発生しない次世代の集中型電源として期待されているが、世界的にも発電した例がなく、低レベルの放射性物質が排出される等の課題もある。脱炭素社会に必要な次世代技術の一つとして認識しており、今後の国際的な研究開発や、国による諸課題への対応の動向を注視しつつ、早期

の実用化を期待している。

県営団地における共益費の徴収

問 入居者の負担軽減に向けて、今後どう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 共益費のうち光熱水費について、団地の希望に応じて県が徴収と支払を代行できる制度を令和7年度に開始した。しかし、団地によっては、入居者の負担が大きい維持管理作業の代行も求める声がある。そこで、令和9年度からの次期指定管理で制度を見直し、県が共益費を徴収して業務を代行できる範囲を草刈りや清掃等にも拡大する。

このほか

宇宙関連産業における人工衛星領域の振興、マンションの空き住戸問題、一般業務委託における低価格入札などについて質問しました。



いのい 飯野 まさたけ

立憲民主党・
かながわクラブ
鎌倉市



特別市※²に対する県の取組

問 特別市に反対する動きが県内市町村でまとまりを見せる中、県としてどう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 今回の質問で反対の声が上がったことを、大変重く受け止める。県では、全国知事会が来月取りまとめる中間報告に向け、議論を主導していく。また、地方六団体※³や国会議員等に対し、知事会と連携し、課題や懸念を伝え、理解を求める。県内市町村とも連携し、特別市の法制化阻止に向け、全力で取り組む。

選択的週休3日制導入

問 今回実施された職員アンケート調査結果の年代別傾向を示すとともに、具体的にいつから導入を考えているか、知事の見解を伺う。

答 調査結果は、回答した約7割が週休3日制導入に賛成で、内訳は、30代前半までは約8割、特に29歳以下は9割以上が賛成であった。一方で、職場運営に関する懸念の意見も寄せられたので、来年度にも導入できるよう、今後、職員団体と丁寧に話し合うとともに、寄せられた課題への対応を検討していく。

このほか

「KOUGEI EXPO」における「GREEN×EXPO 2027」との連携、県営水道と市町の災害時連携、少年を犯罪に加担させない取組などについて質問しました。



きしべ みやこ
岸部 都

かながわ未来
横浜市区



出生率の低下と今後の少子化対策

問 過去最低の合計特殊出生率をどう受け止めているのか、これまでの少子化対策・子育て支援施策をどう評価・検証しているのか、知事の見解を伺う。

答 結果を重く受け止めている。若者向けの就労支援や婚活支援等の取組は一定程度寄与していると考えが、出生率の低下は、経済的負担への不安など複合的な要因があると分析している。希望する人が安心して出産や育児ができる環境づくりを一層進めていく。

教員不足解消に向けた取組

問 教員不足の解消に向けてどう取り組むのか、教育長の見解を伺う。

答 今年度の採用試験では、国公立学校の正規教員を対象とする特別選考を新設し、秋期試験の対象を、倍率が低い特別支援学校に変更した。横浜国立大学が本県の教員をめざす大学生等に対して実施している「地域教員養成プログラム」に当たり、教育実習の受入れなど、積極的な連携を図っていく。さらに、県立秦野高校と大磯高校に、来年度から「教職について学ぶ科目」を新設する。

このほか

県有施設の女性用トイレの利用環境改善、民間団体と連携した困難な問題を抱える女性等への支援、人権啓発の推進などについて質問しました。



まつなが やすゆき
松長 泰幸

県政会・
立憲神奈川ネット
藤沢市



県立病院機構における危機管理体制

問 ナフサ※⁵由来の診療資材等の不足に対し、県立病院として対策を検討すべきと考えるが、知事の見解を伺う。

答 各病院では1週間から2か月程度の医療資材の備蓄を行っているほか、病院機構では、専門事業者が複数の調達ルートを確保し、資材の調達・管理を一括して行う仕組みを導入している。



たむら ゆうすけ
田村 ゆうすけ

自民党
横浜市瀬谷区



GREEN×EXPO 2027開催中の交通需要マネジメント

問 ソフト対策として、今後どう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 混雑緩和のため、会場周辺道路において、事業者に配送時間やルートの変更を依頼するほか、来場者の乗換が多い横浜駅等の利用者にテレワークや時差出勤を呼び掛ける。9月にトライアルを行い、課題や効果を検証する。

花き振興

問 花き振興条例の制定やGREEN×EXPO 2027のレガシーとしての花き振興をどう考えるか、知事の見解を伺う。

答 花きだけの条例制定は、今後議論が必要と考える。県は、より一層の花き振興を図るため、本年度中に花き振興計画の改定を予定しており、若者をターゲットとした取組の実施などを計画に位置付け、GREEN×EXPO 2027のレガシーを次世代へ継承する内容としたい。

かながわポリス※⁷の普及促進

問 「かながわポリス」の更なる普及促進について、警察本部長の見解を伺う。

答 春と秋の全国交通安全運動をはじめとした各種キャンペーンや県警察のホームページ、SNS等の広報媒体を活用した周知活動のほか、「スマートチリンスクール※⁸」の協賛企業の拡充、人気アニメとのコラボレーションなど、アプリの魅力の向上にも努めている。

このほか

保育所における医療的ケア児※⁹などの受入れの促進、学校の指導・運営体制の充実、全国高等学校総合体育大会※¹⁰の取組などについて質問しました。



こが てるき
古賀 照基

立憲民主党・
かながわクラブ
横浜市緑区



インターネットによる誹謗中傷・人権侵害の対応

問 インターネットによる誹謗中傷をはじめとした人権侵害への対応に今後どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 今年度新たに、人権侵害に関する検討委員会を設置し、差別的な投稿のDXによるモニタリング強化と、迅速な削除要請に取り組む。また、注意喚起のSNS広告やメッセージを発信し、弁護士によるオンライン相談も開始する。

多様な妊娠・出産のあり方

問 卵子凍結や無痛分娩等、多様な妊娠・出産のあり方を選ぶ環境づくりにどう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 県は今年度、国の卵子凍結のモデル事業に参加し、健康な方が行う卵子凍結にも補助する。併せて、普及啓発のための講習会も開催する。また、北里大学病院と聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院が中核となり、麻酔科専門医が常駐していない診療所と連携し、安全な無痛分娩の提供体制を構築する。

このほか

神奈川県ギャンブル等依存症対策推進計画の改定、EVバスの普及促進、ニセ警察詐欺対策、税収の偏在是正の取組などについて質問しました。

一般質問

6月24日水・25日木・26日金

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、9月上旬に県議会ホームページに掲載される県議会会議録をご覧ください。また、二次元コードから、各質問・答弁の録画映像がご覧いただけます。

会派名・選挙区は、質問時点のものです。質問順は、左上から下に続きます。



こばやし たけし

小林 武史

自民党
川崎市麻生区



県内大学への期日前投票所の設置

問 来年春予定の統一地方選挙では、若者の投票率向上と選挙啓発の両面から、県内大学に期日前投票所を設置すべきと考えるが、選挙管理委員会書記長の見解を伺う。

答 県内大学に協力を依頼するとともに、県と連携協定を締結している大学等に個別に説明を行う。また、市町村選挙管理委員会に働き掛けを行い、大学から設置希望があった場合は、その情報を伝えながら、調整を促していく。

このほか ビッグレスキューかながわ※11、私立幼稚園の運営支援、国民保護の取組、県立高校における平和学習などについて質問しました。



たかのぶ

すとう 天信

県政会・立憲神奈川ネット
横浜市都筑区



頼れる身寄りのない高齢者の「終活」支援

問 終活に関する情報提供や、終活を始めとした高齢者の暮らしに関わる多様な主体のつながりづくりに、どう取り組んでいくのか、福祉子どもみらい局長の所見を伺う。

答 県ホームページに相談窓口等の終活支援事業を掲載するほか、パンフレットを作成し、情報提供を行う。また、市町村から、支援上の課題や地域の終活支援団体等の情報を聞き取り、多様な主体と連携して終活支援を行う。

このほか 住宅の脱炭素化の推進、県庁業務へのAIエージェント※14の導入、緊急避妊薬のOTC化※15に伴う取組強化などについて質問しました。



はら そうすけ

原 聡祐

自民党
横浜市中区



当事者目線に立った難病患者の社会参加支援

問 指定難病登録者証※19の理解促進を図り、登録者証の提示により割引可能な施設等を増やすなど、難病患者の社会参加を積極的に促すべきと考えるが、知事の見解を伺う。

答 登録者証の制度を県のたよりやSNS等で積極的に情報発信する。また、割引可能な施設やイベントを更に増やすため、県内市町村に依頼し、情報一覧をホームページで周知する。さらに、より多くの企業等に協力を働き掛ける。

このほか オーラルフレイル※20対策、大岡川水系の親水施設の整備、県警察における客引き対策の取組などについて質問しました。



あいはら 相原 しほ

立憲民主党・かながわクラブ
海老名市



上郷立体の整備

問 交通渋滞の緩和など地域の方々の声を受け止めながら整備に取り組む必要があるが、現在の状況と、今後どう取り組んでいくのか、県土整備局長の見解を伺う。

答 約8割の用地取得が完了し、橋脚2つのうち残る1つは今年度中の完成を目指す。通行止めの迂回先の交差点で右折車線を延長し、混雑緩和を図った。通行止めは9月までの予定だが、一日も早い解除に向け警察と調整する。

このほか 夏休みにおける子どもの居場所支援、県警のオンラインカジノ対策、不登校離職防止の取組などについて質問しました。



やまぐち みつお

山口 美津夫

自民党
相模原市緑区



リニア中央新幹線 神奈川県駅の取組

問 リニア中央新幹線神奈川県駅を「降りたくない駅」とするため、どう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 「降りたくない駅」のイメージを具体化するため、小学生対象のデザインコンテストや「対話の広場※16」等の意見交換を行う。また、子どもたちに夢を与えるイベントを開催する企業とも連携し、幅広い層の意見を聞く。このように、関係者と連携して魅力のあるまちづくりに取り組む。

このほか 津久井やまゆり園等の施設利用者の活動の充実、県立学校でのわいせつ行為等の防止に向けた取組などについて質問しました。



わたなべ のりゆき

渡辺 紀之

自民党
伊勢原市



ツキノワグマの人里への出没対策

問 市町村が警察等と連携して実施する緊急銃猟への支援も含め、どう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 市町村が緊急銃猟を円滑に実施できるよう、クマスプレーの購入費等への支援を行うほか、全市町村を対象に、警察や猟友会と連携し、関係者の役割や実際の動きなどを確認する緊急銃猟訓練を7月に開催する。また、訓練後の意見交換で課題を洗い出し、その対応を検討する。

このほか 大山道の観光振興、水源返還林の適正管理と森林所有者支援、生活道路の法定速度引下げの周知などについて質問しました。



よしかわ 吉川 さとし

かながわ未来
大磯町・二宮町



葛川の治水対策

問 葛川の治水対策について、県は、今後どう取り組んでいくのか、県土整備局長の見解を伺う。

答 JR東海道本線の鉄道橋のある箇所ですでに川底を掘り下げる改修や、上流部での遊水地整備の可能性など、様々な視点で検討を進める。また、流域治水※12プロジェクトに基づき、各家庭への雨水貯留タンクの設置など、市町の取組を促進するほか、進捗状況をホームページで公表する。

このほか 社会課題解決型ベンチャー支援、地域に根差した野生鳥獣被害対策、不法投棄対策の実効性向上などについて質問しました。



やなせ きちすけ

柳瀬 吉助

立憲民主党・かながわクラブ
川崎市宮前区



介護職員などの処遇改善加算の実効性確保

問 介護職員などの処遇改善加算の制度が、本来の趣旨のとおり運用され、その実効性が確保されるよう、どう取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

答 介護保険事業所を対象とした集団指導講習会等で、制度趣旨を踏まえた最低賃金と加算の望ましい運用や加算要件となる取組の実施等について働きかける。さらに、処遇改善加算の効果検証や制度改善を国に提案する。

このほか 多様な中小企業支援のあり方、給付還元事業の効果的実施、限られた行政資源を踏まえた事業重点化などについて質問しました。



いしかわ たくみ

石川 巧

自民党
三浦市



三浦市水道事業と県営水道との統合への取組

問 市民への安全で良質な水の安定供給のため、統合に向けて、今後どう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 将来的な統合に向けて課題を整理し、解決方策等を検討するため、三浦市や企業庁、関係機関と協議する会議体の設置について調整していく。また、統合に向けて、今後は市からの要請に応じて、企業庁とも連携し、施設整備等に関する専門的な助言等、技術的な支援も行っていく。

このほか 三浦半島地域の移住促進、サイクルツーリズムの推進、三浦半島のイノシシ対策、農福連携の推進などについて質問しました。



さちこ おだ 幸子

公明党
藤沢市



ガストロノミーツーリズム※13の戦略的推進

問 食の聖地・神奈川の実現に向け、ガストロノミーツーリズムの推進にどう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 今年度から三浦半島エリアでガストロノミーツーリズムに取り組む事業者への財政的支援やプロモーションなどの伴走支援を行う。加えて、地域の取組が持続可能なものとなるよう、新たに、多様な関係者に先進事例の共有や意見交換を行う場の提供も行っていく。

このほか 多様な人材が活躍できる県庁とする取組、ピロリ菌感染対策事業、私立広域通信制高校生徒の対応などについて質問しました。



かわさき しゅうへい

川崎 修平

自民党
横浜市鶴見区



神奈川県 薬物濫用防止条例の改正

問 薬物濫用に対し、より効果的に取組を進めていくための条例改正の方向性について、知事の見解を伺う。

答 被害が拡大するおそれがある段階で速やかに規制ができるよう、条例を見直す。また、指定濫用防止医薬品※17を条例で定める薬物として新たに追加し、オーバードーズ※18の危険性について、周知や啓発を強化する。関係団体等の意見を伺いながら検討を進め、今年度中の改正を目指す。

このほか 災害時の重機オペレーターの人材確保、消防学校における消防人材の育成、犯罪被害者支援の取組などについて質問しました。



いさか しんや

井坂 新哉

共産党
横須賀市



在日米軍個人車両操縦許可証※21の取扱い

問 米兵等が重大な事故を起こした際、日本の免許の取扱いと同様に、許可証の取消しや停止等を行うように求め、その処分が実施された場合には日本側に報告するよう米軍と国に求めるべきと考えるが、知事の見解を伺う。

答 米兵等の重大な交通違反の際は、米軍の中で運転禁止措置や情報公表を行うよう国を通じて求めている。今後も、事故の再発防止に取り組むよう国に強く働きかける。

このほか イラン攻撃の経済への影響と対策、ヘイトスピーチ禁止を含むあらゆる差別を禁止する条例の制定などについて質問しました。

用語解説

2面 3面 6面

- ※1 **アクセシビリティ**
年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが必要とする情報やサービスなどを利用できること。
- ※2 **特別市（特別自治市）**
現行の指定都市（県内では、横浜市、川崎市及び相模原市が該当）が、道府県から実質的に独立し、道府県の権限・税財源を含めて、一元的に管理する「特別自治市」を法制度化しようとする構想のこと。特別自治市では、1人の市長と市議会のみで地方自治を担う。
- ※3 **地方六団体**
全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会のこと。
- ※4 **フュージョンエネルギー**
水素などの軽い原子核同士が融合してヘリウムなどの別の原子核になる際に放出されるエネルギーのこと。発電の過程においてCO₂を発生しない、燃料が豊富に存在する、安全性が高い、環境にやさしいなどの特徴から、エネルギー問題と地球環境問題を同時に解決する次世代のエネルギーとして期待されている。
- ※5 **ナフサ**
原油を精製する過程で得られるガソリンに似た透明の液体のこと。プラスチックや合成繊維、合成ゴムなどの原料として使われる。
- ※6 **ホームスクーリング**
学校に通わず（時には学校に通いながら）、家庭を拠点として学習するスタイルのこと。
- ※7 **かながわポリス**
安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、県警察が「持ち運べる交番」をコンセプトにリリースした公式アプリのこと。事件・事故に関する情報をタイムリーに発信している。
- ※8 **スマートチリンスクール**
自転車の利用者に知ってほしい基本的な交通ルールをクイズ形式で学べる学習機能がついたアプリのこと。かながわポリスに搭載されている。
- ※9 **医療的ケア児**
生活する中で医療的ケアを必要とする子どものこと。医療的ケアとは、たんの

- 吸引や鼻などから管を通して栄養剤を流し込む経管栄養など、在宅で家族が日常的に行っている医療的助行為のこと。医療行為と区別している。
- ※10 **全国高等学校総体育大会**
高等学校教育の一環として、高校生の健全育成、競技力の向上等を目的に、学校対抗で開催されている高校生最大のスポーツの祭典のこと。通称「インターハイ」とも呼ばれ、夏季大会、冬季大会が開催されている。
- ※11 **ビッグレスキューかながわ**
神奈川県と関係機関が協力して実施する、医療救護活動を主体とした実践的な総合防災訓練のこと。
- ※12 **流域治水**
国、県、市町村、企業や住民など、流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策に取り組む考え方のこと。
- ※13 **ガストロノミーツーリズム**
その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズムのこと。
- ※14 **AIエージェント**
特定の目標を達成するために、環境を感知し自律的に行動するAIシステムのこと。
- ※15 **OTC(Over The Counter)化**
処方薬を医師の診察なしに薬局やドラッグストアなどで買えるようにすること。
- ※16 **対話の広場**
県民と知事が、直接意見交換を行う場のこと。
- ※17 **指定濫用防止医薬品**
定められた用法・用量や使用目的を守らず大量に使用した場合に中枢神経系の興奮若しくは抑制又は幻覚を生ずるおそれがあり、その防止を図る必要がある医薬品として厚生労働大臣が薬事審議会の意見を聴いて指定する医薬品のこと。
- ※18 **オーバードーズ**
医薬品を、決められた量を超えて過剰に摂取すること。
- ※19 **指定難病登録者証**
難病法に基づく指定難病患者であることを証明するもの。令和6年度から発行を開始した。福祉・就労等の各種支援を受ける際に使用でき、医療費助成の対象とならない方にも交付される。
- ※20 **オーラルフレイル**
口の機能の健康的な状態と「口の機能低下」との間にある状態のこと。



かたぎり のりこ

片桐 紀子

日本維新の会
横浜市神奈川区



介護を行う家族への支援

問 ケアラー支援の取組や、医療・介護関係者向けの研修も重要と考えるが、どう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 ケアラー相談窓口等で家族からの相談を受け付けるほか、専門家を市町村等に派遣し、メンタルケア等に対応できる関係機関のネットワーク構築を支援する。また、医療・介護の専門職に対して、人生の最終段階におけるケアや、家族への支援をテーマとした研修を実施していく。

このほか かながわ救急相談センター＃7119※22、女性傷病者へのAED使用、交通統合後の体感治安向上などについて質問しました。

- ※21 **在日米軍個人車両操縦許可証**
日米地位協定第10条に規定されている米軍の運転許可証のこと。運転の際は、日本の運転免許証と同じ効力を有するものとして認められている。
- ※22 **かながわ救急相談センター（＃7119）**
急な病気やケガをしたときに、「救急車を呼んだ方がいいのか」、「今すぐ病院に行った方がいいのか」などで迷った際に、電話でアドバイスを受けることができる相談窓口のこと。
- ※23 **PFAS（ピーファス）**
炭素とフッ素の結合をもつ有機化合物のこと。そのうちペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称してPFAS（ピーファス）と呼び、1万種類以上の物質があるとされている。
- ※24 **かながわトクトクキャンペーン!**
県内の対象店舗において、キャッシュレス決済サービスを利用して代金を支払うことで、ポイント等を消費者に還元するキャンペーンのこと。

議会運営委員会

議会の運営、会議規則や委員会条例に関することなどを協議・審査します。

令和8年5月25日現在

委 員 長		あらい 絹 世(自民党)									
副 委 員 長		米 村 和 彦(立憲民主党・かながわクラブ)									
委 員	自 民 党	吉 田 あつき	川 崎 修 平	石 川 巧	芥 川 薫	高 橋 栄一郎	しきだ 博 昭				
	立憲民主党・かながわクラブ	望 月 聖 子	てらさき 雄介								
	か な が わ 未 来	京 島 けいこ	近 藤 大 輔								
	公 明 党	佐々木 正 行	鈴 木 ひでし								
	県政会・立憲神奈川ネット	すとう 天 信									
現 員		15									
定 数		15									

常任委員会

常任委員会は、常設されている委員会で、本会議から付託された議案、請願の審査を行うほか、部局の所管事項に関する調査も行っています。条例によって8つの常任委員会が設置され、議員はいずれか1つの委員会に所属しています(議長は除きます)。

令和8年5月27日現在

委員会		総 務 政 策	防 災 警 察	文化スポーツ観光	環 境 農 政	厚 生	産 業 労 働	建 設・企 業	文 教
委員長		田村 ゆうすけ (自民党)	芥 川 薫 (自民党)	須田 こうへい (立憲民主党・かながわクラブ)	おざわ 良 央 (自民党)	川 崎 修 平 (自民党)	田 中 信 次 (自民党)	楠 梨恵子 (自民党)	飯野 まさたけ (立憲民主党・かながわクラブ)
副委員長		西 村 くにこ (公明党)	作山 ゆうすけ (かながわ未来)	山 口 美津夫 (自民党)	ま す 晴太郎 (自民党)	市 川 よし子 (立憲民主党・かながわクラブ)	京 島 けいこ (かながわ未来)	市 川 さとし (立憲民主党・かながわクラブ)	神 倉 寛 明 (自民党)
委員	自 民 党	吉 田 あつき 大 村 悠 藤 代 ゆうや 森 正 明 杉 山 信 雄	新 堀 史 明 高 橋 栄一郎 加 藤 元 弥 嶋 村 ただし 土井りゅうすけ	田 中 洋次郎 山 本 哲 柳 下 剛 松 田 良 昭	田 中 徳一郎 長 田 進 治 いそもと桂太郎 持 田 文 男	小 林 武 史 石 川 巧 河 本 文 雄 内 田 みほこ しきだ 博 昭	難 波 達 哉 渡 辺 紀 之 梅 沢 裕 之 あらい 絹 世	市 川 和 広 綱 嶋 洋 一 細 谷 政 幸 桐 生 秀 昭	武 田 翔 高 橋 延 幸 原 聡 祐 小 島 健 一
	立憲民主党・かながわクラブ	望 月 聖 子 青山 圭 一 松 崎 淳	野 内 みつえ 松 本 清 孝 たきた 徳	古 賀 照 基 赤 野 たかし	菅原 あきひと 米 村 和 彦	柳 瀬 吉 助 てらさき 雄介	森 田 学 学 栄 居	相 原 し ほ	平 野 みぎわ 斉 藤 たかみ
	かながわ未来	脇 礼 子 岸 部 都	吉 川 さとし	小 田 貴 久	佐藤 けいすけ	永 井 真 人		近 藤 大 輔	石 川 裕 憲
	公 明 党		佐々木 正 行	鈴 木 ひでし	亀井 たかつぐ	お だ 幸 子	小野寺 慎一郎	谷口 かずふみ	藤 井 深 介
	県政会・立憲神奈川ネット			松 長 泰 幸	青 木 マ キ		すとう 天 信		小 川 久仁子
	共 産 党				井 坂 新 哉		木佐木 忠 晶		
	日本維新の会							阿 部 将太郎 松 川 正二郎	片 桐 紀 子
	中原・高津			日 浦 和 明					
	わ が 町						北 井 宏 昭		
	港 南 の 会								浦 道 健 一
	創 和 の 会				谷 和 雄				
	翼 の 会						大 山 奈々子		
	厚 愛 の 会			さとう 知 一					
現 員		12	12	13	13	11	13	11	13
定 数		13	13	13	13	13	13	13	13



常任委員会で質疑された主な項目



総 務 政 策 常 任 委 員 会

ヘルスケア・ニューフロンティアの推進、ボランティア団体等と県との協働の推進に関する条例の見直し結果、新かながわグランドデザイン評価報告書2025、人事制度見直しなどについて質疑を行いました。

防 災 警 察 常 任 委 員 会

防災ヘリコプターの本格導入に向けた検討状況、神奈川県国民保護計画の変更、神奈川県地震防災戦略及び水防災戦略の取組状況、特殊詐欺被害防止対策などについて質疑を行いました。

文化スポーツ観光 常 任 委 員 会

GREEN×EXP0 2027に向けた取組、公立中学校における部活動の地域展開に係る神奈川県の方針素案、神奈川県観光振興計画の改定、神奈川県立県民ホール本館再整備基本計画骨子案などについて質疑を行いました。

環 境 農 政 常 任 委 員 会

GREEN×EXP0 2027に向けた取組、伊勢原市内で発生した地盤沈下に伴う今後の対策、かながわ森林基金条例の廃止、PFAS※23対策などについて質疑を行いました。

厚 生 常 任 委 員 会

地方独立行政法人神奈川県立福祉機構、新たな地域医療構想の策定に向けた今後の方向性、神奈川県総合リハビリテーションセンターあり方検討会の報告書、かながわ人権施策推進指針の改定などについて質疑を行いました。

産 業 労 働 常 任 委 員 会

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金返還請求訴訟の判決に対する控訴、かながわトクトクキャンペーン!※24、新かながわグランドデザイン評価報告書2025、地域未来戦略の対応などについて質疑を行いました。

建 設・企 業 常 任 委 員 会

かながわの川づくり計画の改定、東海道新幹線新駅の誘致に向けた取組、県営住宅における共益費の徴収、既存盛土等調査結果の公表などについて質疑を行いました。

文 教 常 任 委 員 会

高校教育改革の新たな取組、教員の働き方改革の取組状況、公立中学校における部活動の地域展開に係る神奈川県の方針素案、特別支援学校における医療的ケア児の通学支援などについて質疑を行いました。



特別委員会

特定の事件について審査・調査するために、必要があるときに設けられます。

令和8年5月27日現在

委員会		と も い き	未 来 社 会	環 境 ・ 産 業 振 興	生 活 ・ 教 育 政 策
区分					
委 員 長		大 村 悠 (自民党)	石 川 巧 (自民党)	新 堀 史 明 (自民党)	高 橋 延 幸 (自民党)
副 委 員 長		相 原 し ほ (立憲民主党・かながわクラブ)	佐藤 けいすけ (かながわ未来)	柳 瀬 吉 助 (立憲民主党・かながわクラブ)	芥 川 薫 (自民党)
委 員	自 民 党	田 中 洋次郎 神 倉 寛 明 市 川 和 広 渡 辺 紀 之 柳 下 剛 土井りゅうすけ	小 林 武 史 綱 嶋 洋 一 高 橋 栄一郎 加 藤 元 弥 持 田 文 男	難 波 達 哉 山 口 美津夫 山 本 哲 藤 代 ゆうや しきだ 博 昭	吉 田 あつき ま す 晴太郎 細 谷 政 幸 河 本 文 雄 松 田 良 昭
	立憲民主党・ かながわクラブ	菅原 あきひと 望 月 聖 子	森 田 学 市 川 さとし 古 賀 照 基	須田 こうへい 松 崎 淳	平 野 みぎわ 飯野 まさたけ てらさき 雄介
	かながわ未来 公 明 党	脇 礼 子 お だ 幸 子	永 井 真 人 谷口 かずふみ	近 藤 大 輔 小野寺 慎一郎	岸 部 都 佐々木 正 行
	県政会・立憲神奈川ネット			すとう 天 信	青 木 マ キ
	共 産 党	井 坂 新 哉			
	日本維新の会			阿 部 将太郎	
	中 原 ・ 高 津		日 浦 和 明		
現 員		13	13	13	13
定 数		13	13	13	13

ともいき 特別委員会

当事者目線の障がい福祉・地方独立行政法人神奈川県立福祉機構、高齢者支援・認知症対策・ケアラーへの支援の推進、高齢者・障害者等介護の支援、特別支援教育、インクルーシブ教育・人権教育、生涯スポーツ・eスポーツ・パラスポーツの推進、多文化共生に向けた取組、人権男女共同参画社会の推進、DV・ストーカー被害対策について調査します。

未来社会 特別委員会

自然災害対策の推進、持続可能な上下水道、交通安全対策・犯罪の起きにくい地域社会づくり、交通基盤・新たな交通サービスの充実、安全・安心な住まいづくり、都市基盤整備、観光振興・かながわ観光連携エリア、米軍基地対策について調査します。

環境・産業振興 特別委員会

GREEN×EXPO 2027、農林畜水産業の活性化・鳥獣被害対策の推進、脱炭素社会の実現に向けた取組、資源循環の推進、食品ロス問題、KOUGEI EXPO、宇宙関連産業・ベンチャー等成長産業の取組、生産性向上・人材確保・賃上げへの支援について調査します。

生活・教育政策 特別委員会

ヘルスケア・ニューフロンティアの推進、未病改善の取組、医療施策の推進、子ども・子育て支援、少子化対策、児童虐待・いじめ・不登校・自殺対策、高校教育改革、部活動の地域展開、デジタル戦略推進、地方創生の推進について調査します。

決算 特別委員会

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算を審査します。
※決算認定議案が提出された場合に、設置されます。

予算委員会

予算及び予算関係議案の審査を横断的かつ多角的に行うために設置されます。
本県議会では、原則として第1回定例会中に開催されます。ただし、補正予算を審議する必要がある場合、他の定例会においても開催されることがあります。

令和8年5月27日現在

委 員 長		山 本 哲(自民党)			
副 委 員 長		市 川 さとし(立憲民主党・かながわクラブ) 高 橋 延 幸(自民党)			
理 事		田 中 信 次(自民党) 柳 瀬 吉 助(立憲民主党・かながわクラブ) 脇 礼 子(かながわ未来) 亀井 たかつぐ(公明党) 松 長 泰 幸(県政会・立憲神奈川ネット)			
委 員	自 民 党	ま す 晴太郎 綱 嶋 洋 一 細 谷 政 幸 いそもと桂太郎	川 崎 修 平 楠 梨恵子 柳 下 剛 嶋 村 ただし	おざわ 良 央 藤 代 ゆうや 河 本 文 雄 森 正 明	市 川 和 広 高 橋 栄一郎 しきだ 博 昭 あらい 絹 世
	立憲民主党・ かながわクラブ	平 野 みぎわ 青 山 圭 一	須田 こうへい てらさき 雄介	古 賀 照 基 松 崎 淳	市 川 よし子
	かながわ未来 公 明 党	永 井 真 人 お だ 幸 子	岸 部 都 佐々木 正 行	近 藤 大 輔	
	県政会・立憲神奈川ネット	すとう 天 信			
	共 産 党	木佐木 忠 晶			
	日 本 維 新 の 会	阿 部 将太郎			
	中 原 ・ 高 津	日 浦 和 明			
現 員		40			
定 数		40			

議会選出委員等

令和8年5月27日現在

監査委員

長 田 進 治 近 藤 大 輔
(自民党) (かながわ未来)

神奈川県内広域水道企業団議会議員

嶋 村 ただし 松 田 良 昭
(自民党) (自民党)

青 山 圭 一
(立憲民主党・かながわクラブ)

神奈川県川崎競馬組合議会議員

桐 生 秀 昭 森 正 明
(自民党) (自民党)

土井りゅうすけ 米 村 和 彦
(自民党) (立憲民主党・かながわクラブ)

傍聴のご案内

傍聴の受付の際に、住所・氏名をご記入いただきます。車いすをご利用の方も傍聴していただけます。



本会議

- 開 会 通常 午後1時(午前10時30分の場合あり)
- 席 数 210席 多目的傍聴室▶ お子様連れの方、車いすの方、ご高齢の方などにご利用いただけます(事前予約可)。
- 受 付 県庁新庁舎8階議場傍聴席入口〈本会議開会30分前から〉※団体で傍聴を希望される場合は、あらかじめご連絡ください。
- 託児サービス 子育て中の方が安心して傍聴いただけるよう、託児サービスを行っています(無料)。
小学校就学前までのお子様を対象で、定員は5名程度(先着順)です。
利用をご希望の方は、傍聴日の7日前までにお申し込みください。
- 手 話 通 訳 代表質問日には、傍聴席で手話通訳映像がご覧いただけます。
代表質問日以外に手話通訳をご希望の方は、傍聴日の14日前までにご連絡ください。

お問合せ 政策調査課広報・調整グループ ☎(045) 210-7564 / FAX(045) 210-8907

常任委員会・特別委員会

- 開 会 通常 午前10時30分
- 席 数 各委員会16人(開会30分前に定員超過の場合は抽選)
- 受 付 県庁新庁舎5階 議会局議事課〈委員会開催当日午前9時から〉

お問合せ 議事課委員会グループ ☎(045) 210-7546

県庁新庁舎への アクセス

- みなとみらい線「日本大通り駅」県庁口からすぐ
- JR京浜東北線(根岸線)／横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」から徒歩約10分



議案と各会派の賛否

(会派名:左から 自民党・立憲民主党・かながわクラブ、かながわ未来、公明党、県政会・立憲神奈川ネット、共産党、日本維新の会、中原・高津、わが町、港南の会、創和会、翼の会、厚愛の会) ○は賛成×は反対

議案の分類	議案名	審議結果	自民	立憲	未来	公明	県政	共産	維新	中高	わが町	港南	創和	翼会	厚愛	備考
令和8年度補正予算(3件)	一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
	県営住宅事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
条例の一部改正(13件)	かながわボランティア活動推進基金21条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地方税法第37条の2第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	職員の給与及び通勤に要する費用の弁償に関する条例及び学校職員の給与等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定こども園の要件を定める条例	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
	認定こども園の要件を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	神奈川県立の高等学校等の設置に関する条例	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
	神奈川県迷惑行為防止条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他(12件)	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金返還請求訴訟の判決に対する控訴	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠席者等1名	
	特定事業契約の変更(県営上溝団地特定事業契約)	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		
	特定事業契約の変更(近代美術館新館(仮称)等特定事業契約)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	動産の取得(通信機器)															
	指定管理者の指定(県営住宅(横浜等地域))															
	指定管理者の指定(県営住宅(川崎地域))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定(県営住宅(相模原等地域))															
	指定管理者の指定(県営住宅(横須賀三浦地域))															
	地方独立行政法人神奈川県立福祉機構定款の変更															
	地方独立行政法人神奈川県立病院機構定款の変更															
	専決処分(神奈川県県税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
	専決処分(地方独立行政法人神奈川県立福祉機構の徴収する料金の上限の認可)	承認	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		
人事(3件)	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	収用委員会委員及び予備委員の任命															
	人事委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名	
議員派遣(5件)	県政調査(長野県、3人)	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		
	県政調査(鹿児島県、10人)															
	令和8年度神奈川県議会友好代表団(マレーシア ペナン州ほか、8人)	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名	
	女性議員研究交流大会(東京都千代田区、4人)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名	
	県政調査(ベトナム社会主義共和国、4人)	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○		

議会かながわ第190号に関するお詫びと訂正

議会かながわ(190号)の紙面において、次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正申し上げます。
1面「令和8年度当初予算などを可決」5行目 正)「令和7年度2月補正予算など」 誤)「令和7年2月補正予算など」
7面「会派別議員数等」の表の「会派名」及び「呼称」 正)「自由民主党神奈川県議会議員団 自民党」 誤)「自由民主党神奈川県議会議員団 自民党」
※発行分の一部に、変更箇所の下線を引かなければならないところ、変更のない箇所に下線を引く誤りがありました。



公式マスコットキャラクター トゥンクトゥン ©Expo 2027

2027年国際園芸博覧会

2027.3.19-9.26横浜・上瀬谷

開催200日前!



令和8年第3回定例会・会議等の予定

会期：9月7日から12月18日まで(103日間)

9月7日(月)	議会運営委員会・本会議(知事提案説明)・議案説明会
10日(木)	本会議(代表質問)
11日(金)	本会議(代表質問)
14日(月)	本会議(代表質問)
16日(水)	本会議(一般質問)
17日(木)	本会議(一般質問)
18日(金)	議会運営委員会・本会議(一般質問、付託)
25日(金)	常任委員会(総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
28日(月)	常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教)
29日(火)	常任委員会(総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
30日(水)	常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教)
10月2日(金)	特別委員会
6日(火)	(予算委員会)
7日(水)	常任委員会(全委員会)
9日(金)	決算特別委員会
13日(火)	議会運営委員会
14日(水)	議会運営委員会・本会議(採決)
15日(木)	決算特別委員会
16日(金)	決算特別委員会
20日(火)	決算特別委員会
22日(木)	決算特別委員会
26日(月)	決算特別委員会
28日(水)	決算特別委員会
30日(金)	決算特別委員会
11月4日(水)	決算特別委員会
17日(火)	議会運営委員会
25日(水)	議会運営委員会・本会議(知事提案説明)・議案説明会
30日(月)	本会議(代表質問)
12月1日(火)	本会議(代表質問)
2日(水)	本会議(代表質問)
4日(金)	本会議(一般質問)
7日(月)	議会運営委員会・本会議(一般質問、付託)
9日(水)	常任委員会(総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
10日(木)	常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教)
14日(月)	特別委員会
15日(火)	常任委員会(全委員会)
17日(木)	議会運営委員会
18日(金)	議会運営委員会・本会議(採決)

※議会の日程は、変更される場合があります。
※最新の日程と開会時刻は、県議会ホームページでご覧いただくか、議政局までお問い合わせください。

可決された意見書等

可決された意見書【7件】

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 私立の広域通信制高等学校に係る制度整備の早期実現を求める意見書
- すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書
- 日本版DBSの対象事業者拡大及び事業者に対する支援を求める意見書
- 医療機関が有料職業紹介事業者に支払う高額な手数料の是正を求める意見書
- 豊かな学びの実現のための教職員定数の改善等及び教育予算の拡充を求める意見書
- 皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備等を求める意見書

可決された決議【1件】

- 津久井やまゆり園事件10年を機に共生社会の実現をめざす決議

採択された請願【1件】

- 私立学校の修学旅行等における安全管理等について請願

▶ 提案された意見書等

本会議に提案された意見書等の全文は、県議会ホームページに掲載しております。

意見書案提出書・決議案提出書



請願文書表



神奈川県議会 本会議 記録等

検索

https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/p1136021.html